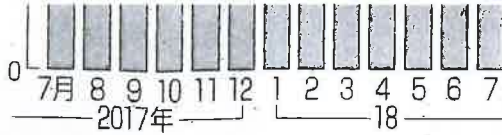


2011年
震災のあ
6%のマ
原産品(広
3648
防府(防



府市)は2万4531台で
21・6%減った。

酒造業者の買戻り厚すぎたため
9月10日から残業や休日出勤
勤の水準を豪雨前に戻す。
年割れ。米国でセダン系車
種が苦戦した。

として、2時45分からは
護士の手な活用法につい
ての講演がある。

建設業の木下組(広島市佐伯区)の子会社で農業法人の木下ファーム(同)は9月5日、三原市大和町に観光ブドウ園「三原圃場」を開く。後継者不足に悩む地元の農業生産法人から施設を引き継いだ。これまでのビニールハウスによる野菜栽培から事業の幅を広げる。

ブドウ園は広さ約1・5畝で安芸クインやピオーネなど約1250本が植わる。客が収穫したブドウは品種によって1キロ当たり1620〜1840円で売れる。

果実の外部販売もする。既に大和町の道「よがんす白竜」で売り始めた。商業施設レクト(広島市西区)の産直市での販

三原で観光ブドウ園経営 木下ファーム 5日オープン



売や、市中央卸売市場(同)への出荷も検討する。

ブドウ園の初年度の売り上げ目標は1500万円。木下ファームは2016年11月に発足し、パクチーやバジル、クレソンなどの野菜を佐伯区のビニールハウスで栽培してきた。「野菜販売の実績を踏まえ、さまざまな販路を考えたい」としている。(二井理江)

ムが再生法

米資材高騰響く

し訳なく、おわびする。裁
判所の監督の下で事業を継
続し、再生していく」とコ
メントを出した。

新社長に月森氏
ティーエスアルフレッサ

医薬品卸のティーエスア

月森祐司副社長(60)が社長
に就任する10月1日付のト
ップ人事を決めた。

同社は2015年4月、



フタバ図書が
地域密着事業
家電買い取りや教室
書店チェーンのフタバ図
書(広島市西区)は、地域

当日参加も可能だが、な
るべく事前申し込みを呼び
掛けている。同弁護士会ホ
ームページの「イベント・
相談会・講演会のご案内」
の「ひまわりほっと相談会
―中小企業を弁護士が応援
します!―」からチラシをダ
ウンロードし、ファクスで
申し込む。問い合わせは
082(228)8174。

自立できる農業の一環として開園

木下ファーム「三原ブドウ園」

㈱KGGホールディングス㈱木下グループ(佐伯区五日市町石内、田中敏彦社長)の㈱木下ファーム(住所・社長同)は、今春から手掛けていた「三原ブドウ園」(三原市大和町大草74-19)を5日にオープンした。



今年1月に取得した約4畝の農場の内の約1畝でブドウを栽培。観光ブドウ狩り(摘み取り・量り売り式)と贈答用として販売する。腰の高さにブドウを実らせるマン

ズ・レインカット方式を採用し、現在、藤稔(ふじみのり)、安芸クイーン、ピオーネ、高妻(たかつま)などが収穫時期を迎えている。

1日に行った開園セレモニーで田中社長は写真に「自立できる農業を目指して発足した木下ファームが新たに参画したブドウ事業。これまで圃場を漸進されてきた皆様の期待に応えられるよう誠心誠意努めていく。若者の農業従事や雇用の創出、中山間地の活性化など、システム構築を考え、社会に役立つ農業に挑戦していきたい」と語った。同園の一般開園時間は午前10時〜午後3時。価

格は1キログラム1500円(税別)。贈答用箱は1・3キログラム/2房入、2・0キログラム/4〜5房入。完売をもって閉園。電話0847-3412370。

お好み焼体験スタオ開設
オタフクソース


オタフクソース㈱(西区商工センター、佐々木直義社長)は国内外の多くの旅行者に調理体験を通じてお好み焼の魅力を伝え、食文化の発信のきっかけになることを願い

10月4日、広島駅北口ekidining TERRACEにお好み焼体験スタジオ「OKOSTA(オコスタ)」を出店する。「OKOSTA」はイメージパースは本格的な鉄板を4台設置、一度に最大で40人がお好み焼の調理体験ができる施設。



出来立てのお好み焼はその場でへらを使用して食べる事が出来る。訪日観光客層にも体験しやすいように、豚肉を使用しないムスリムフレンドリー、肉・魚を使用しないベジタリアン向けメニュー等、多様なニーズに応える。

営業時間は午前10時〜午後10時。お好み焼体験時間は午前11時〜午後0時半、午後1時〜2時半、午後7時〜8時半。予約受付電話277-7116。



地域とともに 皆さまとともに

プロ野球球団
(元広島東洋カープ)
大野 豊

一筆おろし
シシノ
広島市信用組合

<http://www.hiroshimashi.shinkumi.jp/>

育所、社会教育施設などの公共施設の早期復旧に取り組み。災害廃棄物の処理には77億5656万

(単位1000円、▼は新規) 移転新築に伴う造成等) 56、600

【衛生費】墓地管理(児島公園墓地敷地内の空洞

敷まちづくりセンターの解体)150、000

【土木費】河川新設改良(児島味野1丁目急傾斜

備(全校対象施設修繕、ブロック塀等安全対策)91、000

通教室エアコン設置(実借上等)274、429

0▽農道災害復旧(農鍋屋2号線ほか11件、1事、測量設計)127、000

三原ブドウ園「きょう開園

自立した中山間地域を活性化

建設業の木下組などKGGホールディングス(木下グループ、広島市佐伯区五日市町大字石内5998-1、田中敏彦社長のグループ会社木下ファーム)は1日、きょう5日の開園を前にし

て三原市大和町の「観光ブドウ園三原圃場(ほじよう)」で開園記念パーティーを開いた。後継者不足に悩む地元農業生産法人からブドウ園を引き継ぎ、これまで培ってきた農業生産システムなど

を生かして初収穫・販売を迎えた。記念セレモニーには、平口洋衆議院議員、宮崎康則広島県議会議員、藤田博之広島市議会議員をはじめ、地元関係者など約100人が出席し、主

催者を代表して田中社長が挨拶に立ち「西日本豪雨による被害は三原市大和町でも例外ではなく、その中で無事にブドウ園が開園できるのは関係者の支援や協力によるものと感謝している。農業の現状は就業者の高齢化や耕作放棄地の増加、収益の低下などの多くの問題が深刻化している。産業が少ない中山間地域では自立できる農業を目指

し、若者が携わり守っていくよう木下ファームとして農業に新規参入した。農業経営は厳しくもあるが、社会や人の役に立てるよう産業にチャレンジし、自立した農業のシステムづくりを確立し、中山間地域の活性化に努めたい」と述べた。

続いて、来賓で出席した平口衆議院議員、宮崎県議会議員、藤田市会議員が祝辞を述べ、農業の産業化に観光の要素を加え、地域のにぎわいと交流の拠点となることを期待し、テープカットでは田中社長や来賓が紅白のテープにハサミを入れて開園を祝った。

観光ブドウ園は敷地面積約1.5haの圃場に安芸クイン、藤稜、ピオーネ、高妻など約1400本のブドウの木を栽培している。摘み取ったブドウは品種によって1kgあたり1500円と量り売りするほか、道の駅や商業施設、卸売市場に出荷する。開園時期は9月5日から完売まで、開園時間は午前10時から午後3時。

木下ファームでは、広島市佐伯区五日市町石内の第1ファーム、第2ファームに合計6棟のハウスを設置している。木下ベジタブルと総称して、水耕栽培によるパクチー、パジル、クレソンなどを出荷している。

自社栽培だけでなく、農家の新農法システムを実現するため就農希望者を募り、自治体や教育機関と連携しながら若者や農業未経験者の新規参入、Iターン、Uターン層の農業支援を強化し、就農希望者には研修、農地紹介、リースなど、安心して就農できるように後押しする。

KGGホールディングス(木下グループ)は、建設・土木の木下組、環境調査・分析の木下コンサルタント、保守・点検の木下エネルギーソリューションズ、太陽光発電の木下エネルギーパーク、海外事業の木下USA、農業の木下ファーム、一般住宅施工・リフォームの宝工務店などの各関連企業がそれぞれの分野で地域社会に貢献している。

0▽農道災害復旧(農鍋屋2号線ほか11件、1事、測量設計)127、000▽林地災害復旧(江ほか26カ所、土砂撤去、設計、工事等)55、650▽道路災害復旧(下津井通生線ほか63件、土砂撤去、工事等)1、639、900▽河川災害復旧(屋守川ほか26件、土砂撤去委託、工事等)65、400▽公園施設災害復旧(高浜川西原広場ほか64件、測量設計、工事等)284、338▽学校施設災害復旧(まきび支援学校雨ど調整池復旧)7、500▽生涯学習施設災害復旧(公民館ほか3施設、実施設計、工事等)396、675

＝特別・企業会計＝
【水道事業】下水道施設災害復旧(真備浄化センター)復旧、設計、工事等)445、9803
【農業集落排水事業】農業集落排水施設災害復旧(箭田川南浄化センター等復旧)30、067

【水道事業】(資本的支出)真備地区配水管復旧9、300▽真備地区配水池監視装置設置4、489▽(収益的支出)真備地区送水管仮設工50、300



テープカット



ブドウを試食する出席者

観光ブドウ園は敷地面積約1.5haの圃場に安芸クイン、藤稜、ピオーネ、高妻など約1400本のブドウの木を栽培している。摘み取ったブドウは品種によって1kgあたり1500円と量り売りするほか、道の駅や商業施設、卸売市場に出荷する。開園時期は9月5日から完売まで、開園時間は午前10時から午後3時。

木下ファームでは、広島市佐伯区五日市町石内の第1ファーム、第2ファームに合計6棟のハウスを設置している。木下ベジタブルと総称して、水耕栽培によるパクチー、パジル、クレソンなどを出荷している。

自社栽培だけでなく、農家の新農法システムを実現するため就農希望者を募り、自治体や教育機関と連携しながら若者や農業未経験者の新規参入、Iターン、Uターン層の農業支援を強化し、就農希望者には研修、農地紹介、リースなど、安心して就農できるように後押しする。

KGGホールディングス(木下グループ)は、建設・土木の木下組、環境調査・分析の木下コンサルタント、保守・点検の木下エネルギーソリューションズ、太陽光発電の木下エネルギーパーク、海外事業の木下USA、農業の木下ファーム、一般住宅施工・リフォームの宝工務店などの各関連企業がそれぞれの分野で地域社会に貢献している。

中建日報 H30.9.5

WATARJET工法

区画線抹消/コンクリートの表面処理・ハツリ・削孔

お問合せフリーダイヤル

0120-76-3610

サンロード株式会社

